

2019年3月19日

担当者様

吉田 勉

公認大会のありかたを考えるワーキンググループ パブリックコメント

ワーキンググループでの検討お疲れ様です。

ご検討の内容を拝見いたしました。現行の制度設定の中で苦勞されていることがうかがえます。しかし、この改革方向はJOAとしての事務処理が増える方向になり、現状のJOA活動を見る限り方向性が決まってもその運用が難しいのではないかと思います。

今回は、規則から根本的に見直し、事務を縮小できる部分は縮小していくことも考慮すべきかと思います。

目的は皆様と一緒にですが、方向性としては、規則で縛る部分とJOA事務局の仕事を減らし、一方でイベントアドバイザー（EA）のステータスを向上させ、運営者にちゃんと話を聞いてもらう体制を作ることを提案します。

公認大会の他のクラスに対して規則の縛りがなくなることになり、他のクラスがないがしろにされるという危惧があるかもしれませんが、最上位クラスのステータスを維持することで他のクラスの地図・コースの質は維持されます。適切なクラス分けが行われれば、競技者登録をする他のクラスの参加者にも満足いただけるものと思われれます。

以下ご参考にしていただけると幸いです。

記

I. 公認大会を開催しやすくする件、大会制度の改善に関して

1. 競技期規則適応の対象を公認大会の最上位クラス（21E または21A。20Eのセレクションを兼ねる場合は20A もしくは18A まで）および国際大会選考クラスに限定する。^{※5}

他のクラスに関しては、競技規則から大きく逸脱しない限り、EAと相談の上柔軟に対応する。（主催者が他のクラスにおいても規則を適応するのはもちろん自由）

EAは他のクラスの件についてもアドバイスするが、責任を持つのは該当クラスのみとする。

2. 4大大会については現行のガイドラインをそれぞれの大会ごとに改定したガイドラインを用いて対応する。（この中でガイドラインの精神を残す）^{※4}

3. EAの現地までの交通費をJOAが負担する。（IOFにならう）^{※1}

4. 競技規則にはIOFの附則を訳して追加し、公認大会以外の大会では、IOF規則の附則である1.一般的なクラス、2. コース設定の原則3. 環境に関する規定、6.（特定の競技種目名を名乗る場合は）競技種目に準じて行ってもらえばよい。プログラムには附則の1-3（6）に準ずると書いてもらえばよい。

II. 運営側の資格について

1. 運営責任者という文言は慣例的に使われているが JOA 競技規則にはない。新しく文書を作る際には現状を追認して競技責任者、運営責任者の定義を明確にするか、IOF のようにイベントディレクターに統一すべき。(多分 JOA の規則における競技責任者がイベントディレクターにあたると考えられるが、伝統的な運用では、地図・コースに関する事項の責任者が競技責任者ととらえられているようである。)

2. 重要なのは、運営側に資格者がいることよりも、運営を規則に則って行う(もしくは規則に則って EA のアドバイスを受ける)確認ができることなので、EA 制度が採用されるなら運営者の資格規定は外しても良い。(ただし、EA を増やすことが目的なら、この制度は残すこともあるが。)※³

III. 資格を取りやすくする件に関して

1. 資格をとった方がその能力を維持発展するのが肝要。EA が運営の修正内容について根拠を明確にして、しっかり説明する、または代替可能性を提示できるスキルを持つ必要がある。そうすれば EA を設けることが運営側のメリットになる。※²

2. IOF にならってディレクタ制度は EA 制度に統一するべき。ソースが限られているので資格は少ないほうが講習会や研修会を行いやすくなる。

3. 指導員制度はイベントコントロールのためのものではないのでコーチ制度として別に立てる。

IV. 提示された公認大会の問題点について上記提案との関連

- ・会員支援金が高すぎる ※1、※2
- ・指導者資格を持った責任者・イベントアドバイザー (EA) の確保が困難 ※3
- ・申請の期限が早すぎる (これに関しては EA が適切なコントロールをするのに必要ではないかと考えます。)
- ・クラス分けが性別・年齢ごとに強制される※4 (普通の公認大会には規則適応がなくなる。しかし、附則をできるだけ尊重するようにしてもらい。若年層や、ベテランが統合困難な理由を EA が説明できる必要がある。)
- ・リレーは公認の対象になっていない ※5 (最上位クラスを適応)
- ・競技規則類の遵守が求められることが心理的ハードルとなっている※5

以上

最後になりましたが、別に指導員制度の改革も発表されているようです。良く擦り合わせていただき、改革が実りあるものとなりますよう希望いたします。